

第七十一回古民家歴史部会歴史探訪のご案内

平成24年9月15日

古民家歴史部会 木島・原本

前回は、平成24年度企画「横浜、西区・中区・磯子区の今昔探訪」の4回目としまして、「横浜事始め、その1・馬車道・県立歴史博物館」を探訪しました。

今回は、「横浜事始め、その2・関内から山下公園へ」を探訪します。ご期待ください。

記

日 時 平成24年10月4日(木) (今回も雨天決行します)。
集合場所時間 JR根岸線「関内駅」南改札9時50分厳守同時出発。
参加資格 本郷ふじやま公園傷害保険適用のため登録会員に限ります。
用意する物 前回に続き町中を歩きます。交通安全にご注意下さい。
行 程 「関内駅」→港町魚市場跡→我国最古の公園・リチャード・ヘンリー・ブラントン胸像→神奈川県電気発祥地・横浜ベイスターズ記念碑煌々メキ→開港記念館・ジャックの塔・岡倉天心生誕地・横浜商工会議所発祥地・横浜町会所跡→神奈川運上所跡・キングの塔→外国郵便創業局→電話交換創始地→開港資料館・マンホールと下水道・日米和親条約締結地→英一番館跡→像の鼻→山下公園・インド水塔・赤い靴はいていた女の子・西洋理髪発祥地・かもめの水兵さん・ガス灯の生いたち・水の守護神像・日米友好ガールスカウト像・リカルデ將軍記念碑→ヘボン博士邸跡→天王堂跡・洋裁発祥碑・解散場所→みなとみらい線「元町・中華街駅」・「石川町駅」。

○食事場所；解散後昼食自由行動。

台風一過の晴
参加=16名

以上

9/13(木) 8:57~58 ④ 8:58 バス ⑤ 8:03 港南中央 8:25 港南中央 8:29
 10/4(木) 8:57~45 ④ 7:50 ⑤ 7:54 ⑥ 8:00 (迷子) 8:16 8:24 8:58
 第七十一回「本郷ふじやま公園古民家歴史部会」歴史探訪 横浜、西区・中区・磯子区の今昔探訪

古民家歴史部会員 原本

参加:16人

「VI」10月4日(木)横浜事始め、その2・関内から山下公園へ

8:58 一階 9:00~9:03 集合場所; JR根岸線「関内駅」南改札9時50分厳守同時出発
 ⑤ 9:52 9:10~9:11
 行程; 「関内駅」→港町魚市場跡→我国最古の公園・リチャード・ヘンリー・ブラントン胸
 像→神奈川県電気発祥地・横浜ベイスターズ記念碑煌キラキ→開港記念館・ジャックの塔・
 岡倉天心生誕地・横浜商工会議所発祥地・横浜町会所跡→神奈川県運上所跡・キングの
 塔→外国郵便創業局→電話交換創始地→開港資料館・マンホールと下水道・日米和親
 条約締結地→英一番館跡→像の鼻→山下公園・インド水塔・赤い靴はいていた女の
 子・西洋理髪発祥地・かもめの水兵さん・ガス灯の生いたち・水の守護神像・日米友
 好ガールスカウト像・リカルデ将軍記念碑→ヘボン博士邸跡→天王堂跡・洋裁発祥碑
 →みなとみらい線「元町・中華街駅」・「石川町駅」。

食事場所; 「」・TEL045——。

④ 情報センター 9:00~9:03
 1・港町魚市場跡 9:55

1874年(明治7)高島嘉右衛門が船便の良い此処港町に魚、青果、肉類の生鮮食品を扱う

④ 市場を開設所。
 9:07 10:02~03

2・神奈川県電気発祥地; 1890年(明治23)横浜共同電灯会社が此の地に石炭火力発電所
 を建設し、初めて市内700軒に電気の供給を開始した。碑には当時のエジソン式直流発電
 機が描かれている。

④ 横浜ベイスターズ記念碑煌キラキ
 9:10~11 10:04
 3・横浜最古の公園(横浜公園・横浜スタジアム)

1876年(明治9)開園で、この公園一帯は、太田屋新田の一部で湿地帯であった。1
 859年(安政6)11月以来港崎(ミサキ)遊郭があった。遊女500人程がおり一大歓楽
 街を成し、特に異人揚屋(アゲヤ)であった岩亀楼(カンギロ)は有名で、岩亀楼にあった石灯
 籠が、公園内の日本式庭園の一角にある。1866年(慶応2)11月26日、関内一帯を

焼き尽くした豚屋火事によって焼失、1876年公園完成となる。公園とは外国人と日本人の共同公園の意味で彼我公園と呼ばれた。

4. リチャード・ヘンリー・ブランドン胸像（横浜公園）

10月10日～13日

1868年（明治元）政府の招きにより、来日した英国人土木技師。横浜公園の設計を始

め横浜の近代的な街作りに、大きな足跡を残した。

9月20日～22日

10月25日～55日

5. 開港記念館（赤煉瓦と白花崗岩のネオ・ルネッサンス様式建物・スイス製電飾時計塔）

1909年（明治42）横浜開港50周年を記念して市民からの寄付が集まり、それを基

にして東京市の技師福田重義の設計で1914年（大正3）に会館建設が着工され、191

7年に完成した。地下一階地上2位階建てで、建設当時は公会堂の他に貴賓室、商工会議所、

役員室・ビリヤード（撞球室・ドウキウ）・食堂など62室があり、横浜の政・財界のサロンや文化施設として使用された。

公会堂では演奏会や演劇などが東京公演に先駆けて行われたと言う。関東大震災で一部が崩壊したが昭和2年に再建された。ペリー来航時の黒船ポーハタン号や、駕籠に乗る外国人と和舟の渡しの風景があるステンドグラスは開港当時のものである。敗戦後はアメリカ軍に接收され、メモリアルホールと呼ばれて婦人将校の宿舎や軍事品司令部となった。昭和33年接收解除された。

○「ジャックとキングとクイーン」ジャック；開港記念館の愛称、ジャックの塔・クイーン；

横浜税関の建物の愛称、クイーンの塔・キング；県庁本庁舎の愛称、キングの塔。

○岡倉天心生誕の地（明治期美術界の基礎を築いた・1862～1913）・題字安田靉彦（あんだ せいげん）
コ・日本画家）

開港当時、此の地に天心の父で元福井藩士であった岡倉勘右衛門が藩命によって生糸貿易を営んでいた石川屋があった。幼名角蔵、後に覚三と改め天心と号した。天心は7才頃からアメリカ人宣教師バラから英語を学び、9歳の時に高島喜右衛門が開設した高島学校に通った。1871年（明治4）石川屋は藩命によって閉鎖、東京日本橋に移り旅館業を営んだ。その後、天心は東京外国語学校・東京大学で学び、卒業後文部省に入り、御雇外国人教師フェノロサの研究を手伝って全国の神社仏閣の文化財を調査し、古美術の保護・美術の普及・武術教育の調査にあたった。1889年（明治22）、橋本雅邦・横山大観らを率いて日本美

術院を設立して美術運動を推進した。

○横浜商工会議所発祥の地碑；明治4年（1871）まで生糸貿易商石川屋があったが、1874年4月に横浜町会所が建てられた。（横浜浮世絵にも描かれた所）

6・神奈川運上所跡



1859年（安政6）設けられ、現在の税関業務や外交業務等、神奈川奉行所中最も重要な仕事を受け持った。

7・外国郵便創業局（横浜港郵便局・明治4年3月郵便制度創始時外国郵便は在日外国郵便局取扱）



1875年（明治8）1月5日、外国郵便物が日本の郵便局で扱われる事になった。

8・電話交換創始地（日本大通県庁前駅付近）



1890年（明治23）12月、横浜電話交換所で日本初めの電話交換業務が交換手4人で

開始された。電話は交換手にあい手先の番号を告げてつないでもらう方法であった。

9・開港資料館（入館料 200 円小中学生 100 円団体 20 人以上一般 150 円小中学生 80 円・休館月 年末年始）



企画展示室・記念ホール・収蔵資料、行政資料、海外飼料、市内休暇の文書、横浜商人関係の文書、新聞雑誌、画像資料、個人コレクション。

○中庭の玉楠（タヌ）の木；大火、大震災、大空襲に遭い、その度に枝が焼け落ちるも、残っ

た根から新たな芽が伸び、今日の姿まで成長してきた。



10・日米和親条約締結地

1854年（安政元）日米代表が横浜村の応接所で和親条約を結んだ記念碑。



11・英一番館跡（シルク博物館側）

此处はかつて居留地の1番地で、イギリス人の設立した「ジャーマン・マセソン商会」の

あった所。通称「英一番館」で知られている。



12・像の鼻地区（イギリス波止場・平成19年11月30日、幕末から終戦にかけて日本産業発展

に貢献した歴史的工場跡、港湾や鉱山など575件を近代化産業遺産に認定、経済産業省・

横浜から像の鼻地区含21件認定・イギリス人土木技術士ウィットフィールドとドーソン建設請け負った）

//:17

1858年（安政5）結んだ横浜開港は日米修好通商条約では神奈川と記されている。しかし攘夷熱高まる中、宿場・港町と人出の多い神奈川ではトラブルが心配と、幕府が適当な場所を検討する時、勝海舟の門人佐藤政養（セイヨウ）が横浜を推した。寂れた漁村を手入れして長崎の出島と同様な条件で作れると考えた。1859年開港と同時に2ヶ所の波止場（西波止場・イギリス波止場、メリケン波止場は現大桟橋辺り）がつくられた。輸出入貨物を扱う東波止場と国内の物貨を扱う西波止場である。次いで、1864年（元治元）今のホテル・ニューグランドの真向かい辺りにも波止場（東波止場フランス波止場は現在埋立地）が造られた。

山下公園は関東大震災で崩壊した建物の瓦礫の山をもって埋め立ててつくったもの。昭和5年に完成し、市民に開放された。固定されている氷川丸は昭和5年からシアトル航路に就航し、太平洋の女王とうたわれ、秩父の宮夫妻・チャップリンらも乗せたと言う。昭和36年より公園に繋留され一般公開された。（平成20年リニューアル・客室ご覧頂く「客室エリア」・船員仕事場紹介する「乗組員エリア」・歴史展示エリア等。



14 インド水塔（山下公園）

9:37~39

絹物貿易に従事していた横浜在住のインド人達から、関東大震災の祭に受けた援助のお礼



15・赤い靴はいていた女の子（山下公園）

9:40 11:20~22

海を向いて座っている。1979年（昭和54）「童謡赤い靴を愛する市民の会」建立。麻布十番商店街中心パティオ十番に、可愛い女の子像がある。童話「赤い靴」のモデルになった岩崎きみちゃん。3歳でアメリカ人宣教師養女になったが、結核になったため宣教師が帰国するとき付いて行けず、麻布の孤児院へ。其処で9歳の生涯を閉じた。きみちゃんの実母は、最後まで娘がアメリカに行ったと思い、又、その話を聞いた作詞家・野口雨情も、



16・西洋理髪発祥地（ZANGIRI・山下公園）

9:42 11:25



17・かもめの水兵さん（山下公園）

9:45

童謡「かもめの水兵さん」の詞は横浜港の光景であると言う、いわれが記されている。

18・日米友好ガールスカウト像 (山下公園) 9:46~47 11:30

日米友好のしるしとして、アメリカガールスカウト50周年とガールスカウト日本連名の

世界連盟加入を記念して建てられた。

19・リカルデ將軍記念碑 (山下公園) 9:50

フィリピン独立に尽くした將軍は1915年(大正4)日本に亡命、山下町に20年以上

住み活動続けた。

20・ガス灯の生いたち (山下公園通・最初のガス灯 1872年=明治5 高島嘉右衛門のガス会社馬車道~本町通に) 9:55 11:40

最初のガス灯点火と同じ10月31日に、当時の型をデザインしたガス灯が復元・灯火さ

れたのを記念し建てられた。

21・ホテルニューグランド (旧館平成4年「横浜市歴的建造物」認定・本館平成19年「近代化産業遺産」認定、経済産業省「外貨獲得と近代日本の国際化に貢献した観光産業草創期の歩みを物語る遺産群」「貿易立国の原点横浜開港発展の歩みを物語る遺産群」にも認定・旧館設計は渡辺仁・施行は清水組=現清水建設) 9:52 11:35~36

平成19年12月1日開業80周年(昭和2年開業)を迎えた。「霧笛」「鞍馬天狗」の作者、

大仏次郎が執筆活動したことや、昭和20年にダグラス・マッカーサーが3日間滞在したなど

のエピソードを持つ。

22・ヘボン博士邸跡 (山下町バス停付近) 10:05 11:35~56

開港直後來日した米国宣教師で、日本初の和英辞典「和英語林集成」を出版。辞典に使わ

れているローマ字表記「ヘボン式」の元になった。

23・日本洋裁業発祥顕彰碑; 1863年(文治3) 英国人ピアソン夫人が居留地97番地にドレス・メーカー

開店したのが横浜の洋裁業の始まりと言う

24・天王堂跡 9:58~10:00 11:45~46

1862年(文治元12)1月、居留外国人への布教の為、近代日本初のカトリックの聖堂が建てら

れた跡。

元町通り~JR石川町駅 10:15~20 (下見終了)

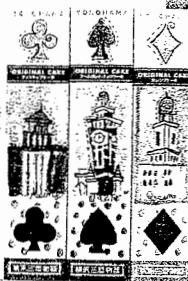
12:10・大戸屋(昼) 以上

13:10.

233

JR石川町 13:25~横浜 13:33 地下鉄乗換

と、味にこだわった
本格的なケーキです。
ヨコハマ・グッズ「横
濱 001」で、荣誉ある
“石坂浩二賞”を受賞
致しました。



WWW.

横浜事始め、その2・関内から山下公園へ案内図

